



ザンビアの経済概況・月報(2016年3月)

主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1. 人口 (百万人)	15.5 (est)	15.9(proj)
2. 人口増加率 (%)	2.88 (est)	2.6(proj)
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. 実質GDP (百万米ドル)	-	-
6. 名目GDP (百万米ドル)	21,902 (est)	20,395(proj)
7. GDP成長率 (%)	3.5(proj)	3.7(proj)
8. 一人当たりGNI (米ドル)	1,619(2014)	-
9. インフレ率 (%)	10.0	22.2(Mar)
10. 消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	181.68(Mar)
11. 貿易収支 (百万米ドル)	-1527.89	-60.29(Feb)*1
12. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*3	-1.40(Feb)*2
13. 輸出 (総額, 百万米ドル)*5	6,978.34	465.49(Feb)*1
14. 対日輸出 (百万米ドル)	46.34*3	1.20(Feb)*2
15. 輸入 (総額, 百万米ドル)*5	8,506.23	525.79(Feb)*1
16. 対日輸入 (百万米ドル)	73.24*3	2.60(Feb)*2
17. 経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014年)	-
18. 対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014年)	-
19. 対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014年)	-
20. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,980 (2015年12月末)	-
21. 対外債務残高 (百万米ドル)	6,400 (2015年12月末)	-
22. 為替レート (対米ドル)	8.63ZMW*4	11.34ZMW(Mar)*4
23. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (Dec, 2015)

※()内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

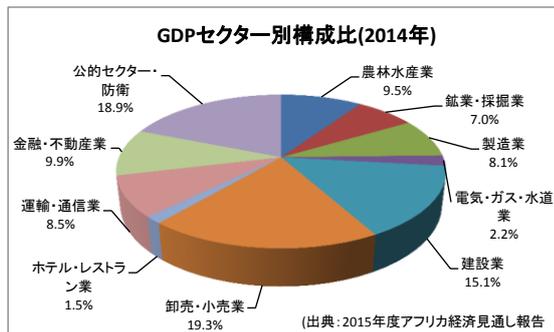
*1	1USD=11.33ZMW (2016年2月のザンビア中央銀行が替相場)を用いて換算
*2	1USD=122円 (2016年2月の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*/2	<2016年2月>
	主要輸出品目: 銅/金塊(半製品)/硫酸/燐酸/メイズ(種子除)
	主要貿易相手国(輸出): スイス 37.5%, 中国 23.3%, 南アフリカ 7.7%, ジンバブエ 6.6%, 英国 6.6%, その他 18.9%
	主要輸入品目: 原油/内燃機用燃料/軽油/コバルト/電話機
	主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 33.6%, モーリシャス 11.1%, クウェート 10.3%, 中国 9.5%, コンゴ(民) 6.5%, その他 29.0%
*3	1USD=121円 (2015年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
*4	2013年1月1日から通貨クワチャのデミネーションが実施され、1,000 ZMK(旧通貨) = 1 ZMW(新通貨)へと通貨単位が変更となった。
<出典>	
1.-2., 6.: Country Report 2016 (EIU)/3. Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO&Ministry of Labour and Social Security)/4. 17.: The World Factbook (CIA) /8.: National Accounts Main Aggregates Database (UNSTAT)/9.-11., 13., 15.: Monthly Bulletin (CSO)a/12., 14., 16.: 日本国財務省貿易統計/18.-19.: UNCTAD/7., 20., 21.: Ministry of Finance in Zambia /22.-23.: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度 ~鉱業関連~>

(出典: ザンビア歳入庁, ザンビア採取産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権料 (Mineral Royalty):**
坑内掘りに6%、露天掘りに9%。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0 - 25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(3月)

1. “ザンビアの経済犯罪、増加を記録” (Times, 2日)

プライスウォーターハウスクーパース(PwC)発表の『2016年世界経済犯罪調査』によると、ザンビアは調査対象期間の2年間で経済犯罪が36%増加した(当館注:「経済犯罪を経験したことがあるか」との問いに対し「はい」と2016年に回答した企業が、2014年(45%)比36%増の61%に増加)。アリPwCカントリーシニアパートナーは、1日に開催された同調査報告書の発表式にて、ザンビア政府に対して、犯罪者の発見や起訴をする際に必要となる法執行機関のスキルとリソースを開発するよう求めた。

2. “2016年国際貿易フェア、農業とエネルギー革新を強調” (Times, 9日)

カブウェラ・ザンビア国際貿易フェア(ZITF)委員長代行は、今年のフェアについて、農業とエネルギー革新が中心テーマとなるゆえに、過去のイベントと異なる旨発言した。今年のフェアは、「雇用創出のための付加価値向上」をテーマとして、6月29日から7月2日に開催される予定である。

3. “チクワンダ財務大臣、外国為替への介入について説明” (Daily Mail, 12日)

チクワンダ財務大臣は、クワチャの影響を軽減すべく、ザンビア中銀が2014年1月から12月までに8億850万米ドル、2015年1月から8月までの期間に2億3000万米ドルをそれぞれ外国為替市場に投入した旨発言した。

4. “AGOAマーケット戦略、完成” (Times, 17日)

ザンビア企業の米国マーケットへのアクセスを目的とする持続可能な戦略のためのアフリカ成長機会法(AGOA)戦略開発イニシアティブが完成した。AGOAは施行から15年が経った2015年に失効したが、同年6月に期間が10年間に再び延長された。

5. “IMF「ザンビア経済、強い圧力下にある」” (Daily Nation, 19日)

IMFは、ザンビア経済は、銅価格の下落、電力不足、降水量の低下を背景として、強い圧力下にある。マクロ経済の安定及び持続した高成長率を早急に回復するには、断固たる処置が必要とされる旨発言した。チカタIMF調査団長は、18日発表のステートメントにて、燃料助成金及び緊急的な電力輸入を主因として、歳出が予算上の額を上回った結果、財政が強い圧力下にある旨明らかにした。また、同団長は、国内の債務増及び利率の上昇により、国内外からの借入という選択肢が制限されている旨発言した。

6. “ザンビア・モザンビーク、電力協定に署名” (Daily Mail, 19日)

18日、ザンビア政府及びモザンビーク政府は二国間の覚書に調印し、同覚書に、モザンビークにおける1,200メガワットの石炭火力発電所建設が明記されている。カラバ外務大臣は、共同記者会見の席にて、ザンビアがナカラ港に建設される同発電所から恩恵を受けることが出来るであろう旨発言した。

7. “ERB、燃料の運搬にかかる時間規制を撤回” (Daily Mail, 22日)

エネルギー規制委員会(ERB)は、昨今の燃料不足を受け、石油製品の迅速な運搬を確実にすべく、業者が燃料を運搬する時間帯を午前6時から午後6時までのみとする要求を撤回した。

8. “チャンピン複合的経済特区、総額10億米ドル以上の投資を呼び込む” (Times, 23日)

Zambia-China Economic and Trade Cooperation Zone (ZCCZ)社は、チャンピン複合的経済特区(MFEZ)に、55社を誘致し、総額15.7億米ドル以上の投資を呼び入れた。リンドウダZCCZ総務部長は、ZCCZ社が同MFEZにおける職業訓練、肥料やセメントの加工、太陽光発電所への投資を模索している旨発言した。

9. “ZDA、多角化を促進する戦略プランを明らかに” (Daily Nation, 25日)

ザンビア開発庁(ZDA)は、非伝統的輸出品の新旧マーケットへの輸出促進を目的とする戦略プラン(総額3.57億米ドルで期間は5年間)を発表した。チサンガZDA長官は、第3版となる同計画において、官民連携等による公共インフラ開発及びサービス提供における民間セクターのさらなる参画を促進する旨発言した。

10. “ZTK電力プロジェクト、開始” (Times, 28日)

ザンビア、タンザニア、ケニア間の全長2,300キロの地域電力連結プロジェクト(ZTK電力プロジェクト)の第1フェーズが今年12月に完了する見込みである。モハマダインCOMESAエネルギー専門家は、ムベヤ(於:タンザニア)及びカサマーカブウェ間のプロジェクト対象地域(於:ザンビア)のFS調査が実施中である旨発言した。ZTK電力プロジェクトが成功裏に完了すれば、東部アフリカパワープール(EAPP)が南部アフリカパワープール(SAPP)に接続されることにより、同プロジェクトが電力需要を満たすことに資すると期待されている。